※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 2001 |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理探究 | 単位数 | ４単位 | 年次 | ２年次または３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新詳地理探究」（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 新詳地理資料 COMPLETE2022（帝国書院）、地理統計要覧 2022 年版 Vol.62（浜島書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校における社会科の学習をもとに、教科書・地図帳・資料集・統計も活用しながら学習をすすめます。特に地理の学習においては「どこに、なにが、なぜ分布しているのか」を踏まえて考察を深めることが求められます。したがって特に地図帳は重要な学習ツールとなります。常に地図帳を横に置き学習をすすめていきましょう。

## ２　学習の到達目標

・現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察する。
・地理的な技能を身につけ、自分の生活する地域や社会への理解を深める。
・現代世界の諸課題を認識するとともに、主体的に社会に関わろうとする意欲をもつ。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の地理についての基本的な事柄を歴史的条件や文化・自然と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | 現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、地域社会や異文化の歴史・文化を尊重し、国際社会に生きる人間として主体的に考察しようとする。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期(二年次) | 自然環境 | ・地形<br>・気候<br>・日本の自然環境<br>・地球環境問題 | a: 写真、地形図、雨温図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、その特徴や相違点などを読み取ることができる。世界の地形や気候について、系統地理的にとらえる視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識をみに着けている。<br>b:世界と日本の環境問題の原因、影響、対策について、自然環境の学習内容などと関連付けて多面的・多角的に考察し、特徴や地域的な分布、今後の課題などについて適切にまとめ、表現できる。<br>c: 世界と日本の環境問題の原因、影響、対策に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的追究し、とらえようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |
| 二学期(二年次) | 資源と産業 | ・農林水産業<br>・食料問題 | a: 農林水産業の生産や分布の特徴に関する諸資料から、有用な情報を適切に選択し、農林水産業の現状や課題について適切に読み取ることができる。世界の農林水産業について、自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し、その知識を身につけている。<br>b:発展途上国や先進国及び日本の食料問題の状況とその成因を系統地理的にとらえる視点や考察方法を考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c: 発展途上国や先進国及び日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 資源と産業 | ・エネルギー・鉱産資源<br>・資源・エネルギー問題 | a: エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、資源ごとの特徴や問題点について読み取ることができる。世界のエネルギー・鉱産資源について、その種類や分布、主な利用法などを理解し、その知識を身につけている。<br>b:資源・エネルギー問題について、生産と消費の不均衡や利用法の課題、石油情勢の背景やこれからのエネルギー利用のあり方などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c: 資源・エネルギー問題について、生産・消費の不均衡をはじめとする問題の動向に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |
| 三学期(二年次) | 資源と産業、交通・通信と観光、貿易 | ・工業<br>・第3次産業<br>・交通・通信<br>・観光<br>・貿易と経済圏 | a: 工業生産や商業、サービス業の動向に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、特徴や課題について読み取ることができる。工業、商業、サービス業の発展過程や種類、立地とその変化、現状と課題を理解し、その知識を身につけている。<br>b:工業の立地や発達に影響を及ぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c: 第３次産業について、近年の動向や地域差に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一学期(三年次) | 人口、村落・都市 | ・人口<br>・人口問題<br>・村落と都市<br>・都市・居住問題 | a: 人口ピラミッド、都市の地域構造などに関する統計や地図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、特徴や課題について読み取ることができる。世界人口の分布と動態、人口構成の特色と人口転換のしくみ、村落と都市の立地条件や発達の背景・機能などを理解しその知識を身につける。<br>b:世界の人口問題・都市問題について、それぞれの課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c: 発展途上国と先進国のそれぞれについて、人口問題・都市問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |
| | 生活文化・民族・主教 | ・衣食住<br>・民族・宗教と民族問題<br>・国家の領域と領土問題 | a: 民族・宗教や領土に関する紛争のデータや事例などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、民族・領土問題における原因の相違点などについて読み取ることができる。国境と領域のきまり、日本の領域・領土、さまざまな国家の分類などを理解しその知識を身につけている。<br>b:世界の衣食住について、地域的差異の背景、その変化と世界的な画一化の要因を、自然環境や社会環境の変化などを踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c: 世界の衣食住の地域的差異、民族と宗教の分布や人々の生活との関係に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 二学期(三年次) | 現代世界の地域区分・現代世界の諸地域 | ・地域区分<br>・中国、韓国・ASEAN 諸国<br>・インド、西アジアと中央アジア<br>・北アフリカとサハラ以南アフリカ<br>・EU 諸国<br>・ロシア<br>・アメリカ合衆国<br>・ラテンアメリカ<br>・オーストラリアとニュージーランド | a: 各地域の産業・文化・民族・歴史などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、各地域の特徴や近年の動向について読み取ることができる。各地域を構成する様々な事象を産業・文化・民族・歴史などの項目ごと整理して、その特色や課題を理解し、その知識を身につけている。<br>b:各地域の地域的特色や地球的課題を、項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c: 各地域の地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |
| 三学期(三年次) | 持続可能な国土像の探究 | 将来の国土の在り方<br>持続可能な日本の国土像の探究 | a: 現代世界の抱える問題を把握し、統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、そこから有用な情報を適切に選択してこれをもとに諸課題を理解する。<br>b:現代世界の抱える課題や論点を項目ごとに整理して考察し、その過程や結果を適切に表現できる。<br>c: 将来の国土の在り方やその持続可能性に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | レポート<br>ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度